

2022 年度実施概要

教育委員会名

阪南市教育委員会

採択活動名

地域に根ざした海洋教育

取り組みの概要

海洋教育パイオニアスクールプログラム（地域展開・アドバンス部門）の活動として、海洋教育副読本を活用した公開授業の実施、阪南市版海洋リテラシーの作成など、以下の取り組みを実施した。

○地域版海洋リテラシーに基づくカリキュラム開発と授業の公開、実践事例の公開状況

阪南市版海洋リテラシーの作成については、海洋教育推進協議会を中心に協議を行い、笹川平和財団海洋政策研究所海洋事業企画部海洋教育チームにご協力いただき取り組んだ。阪南市版海洋リテラシーの内容に関しては、海洋教育における目標やねらい及びこれまで実施校が実践してきた各取り組み等を考慮し、まずは、学校教育に根ざしたスタート版として作成した。また、阪南市版海洋リテラシーに基づき、海洋教育の学習を進めていくために、阪南の海洋教育において「阪南市版海洋リテラシーを育成するための方針（ねらい）」及び、「阪南市版海洋リテラシーを育むための発達段階別育成目標」を作成した。今年度作成した阪南市版海洋リテラシーについては、今後海洋教育を進めていく中で、海洋教育において協力してくださっているボランティア等の方々や市民の方々とも共有し、様々な方の声や視点を取り入れながら、発展させていきたいと考えている。

今年度については、「阪南市版海洋リテラシーを育成するための方針」にも示している海洋教育副読本の活用およびカリキュラム開発を進めてきた。現在実施校として取り組みを進めている小学校5校において、海洋教育副読本を活用したカリキュラム開発を進め、海洋教育副読本を活用した授業公開を実施した。また、授業公開後には、授業の録画を指導案とともに期間限定で、市内全小中学校の教員を対象に公開した。これにより、実践事例の普及および改善を図るとともに、さらなる授業開発へとつなげていきたいと考えている。

また、作成した阪南市版海洋リテラシーについては、次年度リーフレット等を作成し、他の校園や保護者、関係者、地域等に広く発信していく予定である。

○副読本の活用状況

副読本については、海洋教育実践校だけではなく市内全小学校に配付した。また、幼稚園や中学校についても参考に配付した。

海洋教育実施校では、副読本を活用した学習を進めることにより、子どもたちは見通しをもちながら課題に取り組み、探究的な活動を行った。また、副読本を使った公開授業を実施し、副読本の効果的な活用方法について協議、研究を進めている。

そして、海洋教育実施校以外の学校においても副読本を活用することで、阪南市の自然環境及び漁港等の産業が海とつながっていることについて理解を深める授業実践を進めている。

さらに、副読本では「豊かな環境を守っていくために」という単元を設定している。本単元では、自分たちの生活を振り返って環境問題について考えるところから、マイクロプラスチックごみの問題を含め海

をとりまく国際的な環境問題へとグローバルな視点で環境問題について学習することで、地域の海が世界の海へとつながっていること等、海洋への科学的理解を深める。そして、SDGsの取り組みなど海洋を含む環境保全を図るための活動を知るなかで、この問題を自分事ととらえ、課題を解決するためには自分たちに何ができるかということを中心に考え、行動できるよう授業実践を進めている。

○海洋教育の展開に関する課題解決に関する活動内容

海洋教育パイオニアスクールプログラムの地域展開部門を活用し、海洋教育の取り組みを進めていくなかで実施校は小学校3校から現在の小学校5校までに広がった。今後、他の小学校や他校種（幼稚園、中学校）へと市の海洋教育を広げていくことが課題であったが、次年度は新たに小学校3校が加わることとなり、市内全小学校で実施していく予定となった。また、実施校以外でも副読本を活用していくことや、教員対象の研修への積極的な参加を呼びかけ、今年度は実施校以外参加者もいた。また、次年度への取り組みにつなげていけるよう実施していない小学校の子どもが体験できるような取り組みを企画・実施した。

海洋教育の取り組みを進めるなかで、各校の立地等を踏まえた実施校独自のカリキュラムも作成されてきている。また、以前は外部講師の協力なしではできなかった活動も、学校のみで取り組めるようになってきた。今後、各校で教員の入れ替わり等があったとしても、取り組みが継続できるよう、副読本を活用した指導案の蓄積や各校における実施体制の構築を進めている。

○地域・保護者を対象とした説明会等の実施状況

年度当初の予定では、実施校の子どもたち同士が交流し合う実践交流会を実施し、各校の海洋教育の取り組みについて、保護者を含め地域に公開を考えていたが、新型コロナウイルス感染症の感染状況等を鑑み実践交流会の実施方法を変更したため、今年度は実施できなかった。次年度は、実施校の子どもたち同士が交流し合う実践交流会を実施し、各校の海洋教育の取り組みについて、保護者を含め地域に公開をしたいと考えている。その際に、市の海洋教育の取り組み及び阪南市版海洋リテラシーについても併せて説明を行うことを考えている。

また、市のウェブサイトにおいては、今年度の実践報告会で行った各校の取り組みについてまとめた動画を掲載し、学校の取り組みについて発信している。

○公開授業研究会の実施状況

実施校による副読本を活用した授業の公開授業研究会を実施した実施校の教員が互いに参観し、その後研究協議を行い、指導力、実践力の向上を図った。また、授業を実施校以外の学校の教員が参観することで、実施校以外での副読本の活用や環境教育の推進につながっていくと考えている。また、当日参加できなかった教員についても録画と指導案を市内のネットワークにアップすることで、実践を広く発信した。

○他地域の教員を対象とした教員研修会の実施状況

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、大人数で行う研修会を実施することが難しく、他地域の教員を対象とした教員研修会は実施できなかった。しかし、市内の教職員に対して実施した研修に、今後連携した取り組みの実施を考えている和歌山市の職員の方に参加していただいた。次年度は海での研修への参加を広く呼び掛けたり、講演を配信したりすることにより、他地域の教員が参加できる方法の検討を進めていきたいと考えている。

○その他教育委員会としての取り組み

- ・ 7月18日（月）には、阪南市で実施された「里海をめぐる高校生フォーラム in 阪南」にて阪南市の海洋教育の取り組みについて発表を行った。
- ・ 8月25日（木）には、日本財団・笹川平和財団海洋政策研究所主催の「海洋教育研究会」に参加し、副読本の作成及びその実践について発表を行った。
- ・ 11月10日（木）には、「泉南・泉北ブロック教育委員会研修会」にて阪南市の海洋教育の取り組みについて発表を行った。
- ・ 3月4日（土）には、「阪南市 SDG s 未来都市シンポジウム」に参加し、市の海洋教育の取り組みについて、発表を行った。

活動参加校名

1. 阪南市立尾崎小学校
2. 阪南市立西鳥取小学校
3. 阪南市立下荘小学校
4. 阪南市立舞小学校
5. 阪南市立上荘小学校



海洋教育研修会 講演



海洋教育研修会 実習1



海洋教育研修会 実習2



海洋教育研修会 実習3



第2回 海洋教育推進協議会